

研究ノート

# 先人の生き方を考える自作の郷土資料の活用

## —小学校道徳科授業を通して—

松原 好広

Using home-grown Local Materials to Think about the Lives of Our Predecessors:  
Through the Moral Education Class at Elementary Schools

MATSUBARA Yoshihiro

### 要 旨

本研究の目的は、道徳科授業の自作の郷土資料を、小学校道徳科授業で活用し、児童の受け止め方を探り、効果的な活用の在り方を検証することである。

検証授業では、「なぜ先人は、そのような生き方をしたのだと思いますか?」「先人の生き方から、どんなことが役に立つと思いますか?」などの発問を行った。その結果、児童は、先人の生き方を、自分に引き寄せ、自分なりにどうするかを考えられるようになったものと推察された。自作の郷土資料を道徳科授業で活用する際は、「先人に関連する多様な内容項目を意識させ、児童が多面的・多角的に先人の生き方を捉えられるような発問を行うことが効果的である。」ことが示唆された。

### キーワード

先人の生き方 自作の郷土資料の活用 小学校道徳科授業

### 目 次

- I. 問題の所在と研究の目的
  - II. 開発した自作の郷土資料の概要と留意点
  - III. 検証授業の計画
  - IV. 検証授業の実施
  - V. 結果と考察
  - VI. 結論
- 引用  
参考文献  
巻末資料1・2

## I. 問題の所在と研究の目的

平成29年、告示された「小学校学習指導要領 特別の教科 道徳編」<sup>1)</sup>では、「主たる教材として教科用図書を使用することは言うまでもないが、道徳教育の特性に鑑みれば、各地域に根ざした地域教材など、多様な教材を併せて活用することが重要となる。」と規定している。

教育現場からも、教科書教材について、「子どもにもっと近い教材はないか」「身近なもので使えるものはないか」<sup>2)</sup>などの声が聞かれ、地域教材を活用した道徳科授業の実践を求める声が上がっている。

このように、地域に根差した自作の郷土資料を開発し、活用することは、児童が自分の住む地域について、これまで以上に興味関心を示すものであると考える。とくに、地域のために奔走した先人の生き方を考えることは、児童にとってのロールモデルとなり、教育的効果も高まるものとする。

例えば、小林<sup>3)</sup>は、地域の先人である西村茂樹に着目し、既存の郷土資料を一部改作して、道徳科授業を実施している。小林自身が、地域に関心をもち、西村の姿に感銘を受けたからこそ、自作の郷土資料を開発し、活用することができたのではないだろうか。もし、多くの教師が、小林のように、地域に関心をもち、先人の姿に感銘を受けることができれば、率先して、郷土資料を開発し、活用していくものとする。また、郷土資料が開発されなくても、教師自身の手で、自作の郷土資料を開発し、活用していくことだろう。

さらに、先人の生き方を考える自作の郷土資料を活用した道徳科授業を実践することで、児童は、先人の生き方に迫り、「地域に貢献する態度」「よりよく生きる喜び」などの道徳的価値についてふれることができるのではないかと考える。

以上の考えから、『地域総合研究』<sup>4)</sup>第24号(2023年)において、教師が、地域に関心をもち、先人の姿に感銘を受けることができるように、自作の郷土資料を開発する意義、方法、開発した地域教材など、自作の地域教材を開発するまでの経緯を紹介した。

そこで、本研究では、その開発した自作の郷土資料を、小学校道徳科授業で活用し、児童の受け止め方を探り、効果的な活用の在り方を検証することを研究の目的として、検証授業を進めることにした。

## II. 開発した自作の郷土資料の概要と留意点

自作の郷土資料は、本学のある地域に根差した先人(市川量造、小松一三夢)の2名を洗い出し、2本の自作の郷土資料を開発した。それぞれの概要は、以下のとおりである。

### 1. 「松本城を守り抜いた男」<sup>5-7)</sup>(市川量造)の概要

明治6年、廃城令の交付で松本城は無用の長物となり、廃城となる運命になった。そのような中で、取り壊しに待ったをかけたのが市川量造であった。量造は、競売で落札された松本城を買い戻すために各地に出かけた。そして、松本城で博覧会を開催すれば、その拝観料でお金を集めることができると考えた。当初、博覧会の開催を許可してくれなかった筑摩県も量造の思いに動かされ、松本城での博覧会での開催を許可してくれた。博覧会は、明治6年から9年まで計5回開催され、天守は取り壊しを免れることとなった。

### 2. 「人々の心の中に咲いた花」<sup>8-10)</sup>(小松一三夢)の概要

明治35年、伊那市に生まれた小松一三夢は、肺炎を患うなど、長らく療養所で過ごした。昭和22年、松本市の小学校で勤務を始めたが、再び、病に倒れてしまう。闘病生活を終えた小松は、戦争後の松本の街が荒れ果てていたのを見て愕然とした。小松は、友人たちと協力して、松本の街を花でいっぱいにするように考えた。時には、「『花いっぱい』ではなく、『腹いっぱい』が必要じゃないか」と言われることもあったが、小松は諦めることなく、この運動を続け、多くの人たちの心の中に花を咲かせた。

また、自作の郷土資料の開発にあたっては、2023年1月から、本学のゼミ生と意見交換を積み重ねた。ゼミ生にとって、興味・関心のある地域教材を開発すれば、児童にとっても興味・関心が高まると考えたからである。

開発の留意点としては、西<sup>11)</sup>が、「高い道徳的価値を記述し、児童生徒の生活よりも高い道徳的価値

を記述することが望ましい。」と指摘している。これは、先人の生き方は、高い道徳的価値に裏打ちされた生き方であるから、児童が、先人の生き方に興味・関心をもつことは、同時に、高い道徳的価値に興味・関心をもつということである。そこで、自作教材には、先人の高い価値観を記述するようにした。

さらに、井上<sup>12)</sup>が、「児童生徒に自らの生き方を振り返らせるためには、教材が道徳的価値や徳目を提示する程度では役に立たない。」と指摘している。これは、児童が心から共感できるようにするためには、先人の失敗、挫折、葛藤体験などを記述することが大切であるという指摘である。人間は、神や仏ではなく、弱さ、醜さをもっている生身の人間なのである。したがって、自作の郷土資料に、先人の弱さ、醜さを記述しなければ、児童は、自分とのギャップを感じてしまい、「先人だから偉業を成し遂げた。」と思ってしまうのである。

### Ⅲ. 検証授業の計画

本研究では、検証授業の実施に向けて、A、B小学校に依頼した。その経緯は、次のとおりである。

2023年5月9日(火)、市内で実施される小中高及び特別支援学校の校長が集まる「校長会」に赴き、自作の郷土資料を紹介した。この資料を道徳科授業で活用することによって、「期待できる成果」「道徳科授業での活用方法」などの説明を行った。そして、依頼があれば、自らが各学校に赴き、道徳科授業を実施させていただくことを連絡した。後日、A、B小学校の校長から本学に依頼が入り、検証授業の実施に至ったのである。

検証授業に向けては、荒木<sup>13)</sup>が、「偉人の多くが、『よりよく生きる喜び』という内容項目に紐付いており、ある意味、多様な道徳的価値を含みもつ内容項目で

あるといえる」と指摘している。これは、「地域に貢献する態度」「よりよく生きる喜び」などの道徳的価値は、多様な道徳的価値を含みもつものであるということである。そこで、自作の郷土資料を活用する際には、これらの道徳的価値を多面的に意識させて、先人の生き方を考えられるような指導過程を計画するようにした。

なお、検証授業は、同学年のすべての学級で行い、学習指導案も、次に示すように、「先人の生き方を通して、地域に貢献しようとする態度を育てる。」(関連項目「よりよく生きる喜び」)ことをねらいに設定した。また、発問は、「なぜ先人は、そのような生き方をしたのだと思いますか?」「先人の生き方から、どんなことが役に立つと思いますか?」を行い、児童が自分に引き寄せて、自己の生き方を考えられるようにした。

### Ⅳ. 検証授業の実施

検証授業は、以下のとおり、2023年6月12日(月)から2023年7月4日(火)の期間に実施した。

検証授業では、学習指導案の発問1「市川量造の生き方のどんなところが参考になりましたか?」と尋ねたところ、児童たちから「何事も諦めないこと」「人のために役立つこと」「人の意見をあまり気にしないこと」「自分で考え行動すること」「あまり調子に乗らないこと」などの意見が出された。

次に、学習指導案の発問2「市川量造は、なぜそのような生き方をしたのだと思いますか?」と尋ねたところ、「松本の街が好きだったから」「松本の人たちのことを考えていたから」「自分がやらなければならないと思っていたから」などの意見が出された。児童たちは、市川量造の「郷土愛」「行動力」などの価値に触れるなど、市川量造の生き方を通して、地

	授業日	学級	自作の郷土資料名 内容項目
1	6月12日(月)	A小学校6年1組25名	「松本城を守った男」 C-17 地域に貢献する態度
2	6月13日(火)	A小学校6年2組28名	「松本城を守った男」 C-17 地域に貢献する態度
3	6月13日(火)	A小学校6年3組28名	「松本城を守った男」 C-17 地域に貢献する態度
4	7月3日(月)	B小学校6年1組22名	「人々の心に咲いた花」 C-17 地域に貢献する態度
5	7月4日(火)	B小学校6年2組22名	「人々の心に咲いた花」 C-17 地域に貢献する態度

域に貢献しようとする考えを深めることができたようだった。

また、小松一三夢の検証授業では、学習指導案の発問1「小松一三夢の生き方のどんなところが参考になりましたか?」と尋ねたところ、児童たちから「諦めないこと」「根気強い」「人の言葉に耳を傾ける」などの意見が出された。

次に、学習指導案の発問2「小松一三夢は、なぜそのような生き方をしたのだと思いますか?」と尋ねたところ、児童たちは、小松一三夢の「郷土愛」「行動力」などの価値に触れるなど、小松一三夢の生き方を通して、地域に貢献しようとする考えを深めることができたようだった。

## V. 結果と考察

検証授業では、押谷<sup>14)</sup>が、「道徳性評価の方法の一つとして、質問法の活用をすることが効果的である」と指摘している。これは、授業のねらいを達成できたかを検証するためには、質問法が効果的であるという指摘である。そこで、質問法を授業前(事前に担任の先生にお願いして記入してもらう)、授業後(検証授業の終末時に児童に記入してもらう)を活用することにした。

また、富岡<sup>15)</sup>は、「ワークシートによる記述は、感じたこと、考えたことを自由に記述させるので内面的な意識を理解しやすい」と指摘している。これは、

### ○学習指導案

- 1 主題 C-17 地域に貢献する態度(関連項目「よりよく生きる喜び」)
- 2 ねらい 先人の生き方を通して、地域に貢献しようとする態度を育てる。
- 3 展開の概要

	学習活動 ○主発問 ◎中心発問 ・予想される発言	指導上の留意点
導入	○先人にかかわる画像で紹介し、本時の資料にかかわる話を紹介する。 ・先生の説明を聞く。	○教材への関心を向かせるため、身近な話として関心を高める。
展開	●教材を読んで考える。 ○先人の生き方のどんなところが参考になりましたか? ・何事も諦めない。 ・強い意志を貫いている。 ・発想力が豊かで、行動力がある。 ○なぜ先人は、そのような生き方をしたのだと思いますか? ・地域の人たちのことを第一に考えていたから。 ・これからのことを考えていたから。 ○グループに分かれ、それぞれの意見を交流しましょう。なぜ、そのように考えたのかの理由も説明しましょう。 ・自分の考えを発表し、他の人の考えを聞く。 ・考えたこと、気付いたことをメモする。 ◎先人の生き方から、どんなことが役に立つと思いますか? ・自分のできることを考える。 ・考えたことを発表する。	○どのような生き方が参考になり、なぜ、その生き方が参考になったのか、理由も考えさせる。 ○それぞれの考えについて、なぜ先人は、そのような生き方を選んだのかを、自分自身と結び付けて考えられるようにする。 ○グループで話し合い、それぞれの考えを交流し、自分の考えを深められるように働きかける。 ◎ワークシートを活用しながら、先人の生き方から、自分にできることが何かあるかを考えられるように働きかける。
終末	○本時の学習を振り返る。 ・説明を聞き、振り返りシートに記入する。	○自分なりに考えたことを今後の生活に生かせるよう働きかける。

- 4 評価 先人の生き方を通して、地域に貢献しようとする態度を自分なりに深めることができたか。

児童の内面的な意識を引き出すためには、ワークシートに自由な記述をさせることが効果的であるという指摘である。そこで、質問法により、次の3点を調査することにした。

- (1)「開発した自作の郷土資料についての児童の受け止め」(授業後)
- (2)「先人の生き方について興味の実態」(授業前後)
- (3)「先人から、どんなことが役に立つと思うかの考え(自由記述)」(授業前後)

## 1. 「松本城を守り抜いた男」(市川量造)の検証授業の結果と考察

### (1)「開発した自作の郷土資料についての児童の印象」(授業後)

A小学校3クラス合計80名に聞いたところ、以下の結果になった。(表1)

「とても印象に残った」「少し印象に残った」を併せると96%となった。開発した自作の郷土資料に感銘を受ける児童が多い実態が明らかになった。このことから、自作の郷土資料の開発は、児童の興味関

心を高める可能性があることが示された。

### (2)「先人の生き方について興味の実態」(授業前後)

検証授業前後の「先人の生き方についての興味の実態」をみるために、検証授業前後の質問2の項目得点を用いてt検定を行った。結果、1組( $t=6.838$ ,  $df=25$ ,  $p<0.001$ )、2組( $t=5.279$ ,  $df=27$ ,  $p<0.001$ )、3組( $t=6.859$ ,  $df=27$ ,  $p<0.001$ )の3学級において、検証授業前と検証授業後で、質問2の項目得点の平均値には統計的な有意差が認められ、すべての学級において検証授業後に項目得点が増加した(表2)。

### (3)「先人から、どんなことが役に立つと思うかの考え(自由記述)」(授業前後)

授業前後の「先人から、どんなことが役に立つと思うかの考え(自由記述)」では、次のような記述例が見られた。

#### ○授業前

- ・松本市の歴史や文化などを守りたいという心につながると思う。(A児童)
- ・松本にもきっと興味をもてると思う。
- ・松本市の歴史や文化などを守りたいという心につながると思う。



「松本城を守った男」の授業風景



「人々の心の中に咲いた花」の授業風景

表1 「開発した自作の郷土資料についての印象」の検証(授業後)

質問内容	とても印象に残った。	少し印象に残った。	あまり印象に残らなかった。	まったく印象に残らなかった。
市川量造の話は、印象に残りましたか。	54名 (66%)	24名 (30%)	1名 (2%)	1名 (2%)

○授業後

- ・行動力のある諦めない人になるために役立つと思いました。(A児童)
- ・自分も諦めることが多いけれど、市川量造さんのように諦めずにやり切ることに。
- ・諦めずに最後までしっかりやるところ、いろいろ言われても気にしないところ。

なお、A児童が記入したアンケート用紙(事前)とワークシート(事後)の記述例は、巻末資料1に提示する。

そこで、樋口<sup>16)</sup>が開発した「テキストマイニング」の手法を用いた「KHCoder3」を活用し、どのような語の出現が多かったかを検証した。

児童の自由記述から、抽出された語の階層的クラスター分析(1~3組の総数)をかけた。

授業前では、79の文、78の段落、総抽出語(使用)は、867(343)、異なり語数(使用)は、196(132)であった。

授業後では、84の文、79の段落、総抽出語(使用)は、870(366)、異なり語数(使用)は、163(99)が抽出された。

なお、階層的クラスター分析を実行する際には、Jaccard係数を用いたward法にて分析を行った。その結果、以下のとおり、授業前では、25語、5クラスター、授業後では、29語、6クラスターに整理された。

○授業前

- ①「考える」「分かる」「今後」「過ごす」
- ②「観光客」
- ③「ボランティア」「参加」「歴史」「心」「**思う**」  
「松本(人名)」「知れる」
- ④「社会」「授業」
- ⑤「人」「知る」「増える」「将来」「自分」「活動」  
「松本(地名)」「学ぶ」「参考」「興味」「伝統」

○授業後

- ①「言う」「気」「心」「言葉」「進む」

- ②「行動」「考える」「移す」
- ③「造」「未来」「市川」
- ④「松本城」「活動」「自分」「大切」「気持ち」  
「動く」「人」「何事」「思う」「努力」「**諦める**」  
「勇気」「最後まで」「守る」
- ⑤「お金集め」
- ⑥「アイディア」「思い」「伝える」

授業前は、「分かる」「思う」「知る」「学ぶ」など、「周りの人がこうやっているから参考にしよう」というように、第三者的な語の出現が多く見られた。

しかし、授業後は、「行動」「努力」「諦める」「最後まで」など、「自分からこのように動こう」というように、主体的な語の出現が多く見られた。

また、授業前と授業後での語の出現回数の上位10語をまとめると、以下のようになった。(表3)

順位の1位になった語は、授業前では、「思う」が、出現回数28回であった。このことから、児童は、地域に対して、第三者的な考えを抱く傾向が見られるものと推察された。

しかし、授業後では、「諦める」が、57回出現していた。このことから、授業前の第三者的な考えから、市川量造の生き方を踏まえて、自分も市川量造のように、「諦める」ことなく、主体的に生きることを考えるようになり、自分に引き寄せて考えられるようになったものと推察された。

## 2. 「人々の心の中に咲いた花」(小松一三夢)の検証授業の結果と考察

### (1)「開発した地域教材についての児童の受け止め」(授業後)

B小学校2クラス合計44名に聞いたところ、以下の結果になった。(表4)

「とても印象に残った」「少し印象に残った」を併

表2 「先人の生き方についての興味」についての比較の調査結果

質問内容	学級	検証授業前		検証授業後		p<0.001 t値
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
先人の生き方について興味がありますか?	1組	2.808	0.849	1.885	0.816	6.838
	2組	1.964	0.637	1.393	0.497	5.279
	3組	2.500	0.745	1.571	0.634	6.859

(1、とても興味がある 2、少し興味がある 3、あまり興味がない 4、まったく興味がない)

せると96%となった。開発した自作の郷土資料に感銘を受ける児童が多い実態が明らかになった。このことから、自作の郷土資料の開発は、児童の興味関心を高める可能性があることが示された。

(2)「先人の生き方について興味の実態」の検証(授業前後)

検証授業前後の「先人の生き方についての興味の実態」をみるために、検証授業前後の質問2の項目得点を用いてt検定を行った。結果、1組( $t=4.465$ ,

$df=21, p<0.001$ )、2組( $t=5.238, df=21, p<0.001$ )の2学級において、検証授業前と検証授業後で、質問2の項目得点の平均値には統計的な有意差が認められ、すべての学級において検証授業後に項目得点が上昇した(表5)。

(3)「先人から、どんなことが役に立つと思うかの考え(自由記述)」(授業前後)

授業前後の「先人から、どんなことが役に立つと思うかの考え(自由記述)」では、次のような記述例

表3 「授業前と授業後での語の出現回数の上位10語」

授業前			授業後		
順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	思う	28	1	諦める	57
2	自分	19	2	思う	26
3	強い	18	3	行動	11
4	人	15	4	人	10
5	根気	12	5	自分	9
5	役に立つ	12	6	努力	8
7	意見	9	7	気持ち	7
8	大切	6	8	最後まで	7
9	花	5	8	気	6
9	決める	5	10	大切	6

表4 「開発した地域教材についての印象」の検証(授業前後)

質問内容	とても印象に残った。	少し印象に残った。	あまり印象に残らなかった。	まったく印象に残らなかった。
小松一三夢の話は、印象に残りましたか。	32名 (73%)	10名 (23%)	2名 (4%)	0名 (0%)

表5 「先人の生き方についての興味の実態」の比較の調査結果

質問内容	学級	検証授業前		検証授業後		$p<0.001$
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	t値
先人の生き方について興味がありますか？	1組	2.136	0.774	1.455	0.596	4.465
	2組	2.500	0.740	1.682	0.646	5.238

(1、とても興味がある 2、少し興味がある 3、あまり興味がない 4、まったく興味がない)

が見られた。

○授業前

- ・人を助けることにつながって、そういうことに役立つと思います。(B児童)
- ・自分もこういう松本市のための活動をやりたいという人が増えても松本市がよくなると思います。
- ・松本市の歴史を知ったり、自分も役に立ったりすることができるかもしれないということ。

○授業後

- ・人のために活動して、助けることだと思いました。自分の決めたことを最後までやりとげること。実行力に役立つと思いました。(B児童)
- ・他の人から自分の意見に反対されても、あきらめず、根気強く、活動を進めるところ。
- ・自分の考えをしっかりと、他の人の意見も聞く。周りの人のために働く。自分の意見を人に流されない。自分や他の人のために工夫する。

なお、B児童が記入したアンケート用紙(事前)とワークシート(事後)の記述例は、巻末資料2に提示する。

そこで、児童の自由記述から、抽出された語の階層的クラスター分析(1~2組の総数)をかけた。

授業前では、45の文、42の段落、総抽出語(使用)は、553(212)、異なり語数(使用)は、157(98)であった。

授業後では、64の文、42の段落、総抽出語(使用)は、850(350)、異なり語数(使用)は、206(133)が抽出された。

なお、階層的クラスター分析を実行する際には、Jaccard係数を用いたward法にて分析を行った。その結果、以下のとおり、授業前では、21語、5クラスター、授業後では、33語、6クラスターに整理された。

○授業前

- ①「助ける」「困る」「自分」「役に立つ」  
「身近」「思える」
- ②「場所」「いろいろ」
- ③「将来」「増える」「思う」「人」「活動」「松本(地名)」
- ④「松本(人名)」「生活」「伝える」
- ⑤「社会」「今」「歴史」「知る」

○授業後

- ①「達成」「思い」「努力」

②「生きる」「耳を傾ける」「言葉」

③「言う」「生活」「行動」「参考」

④「活動」「他」「意見」「反対」「大切」「自分」

「思う」「人」「気持ち」「夢」「流す」「考え」「聞く」

⑤「強い」「心」

⑥「最後」「決める」「実行」「信念」「経験」

「考える」「笑顔」「花」

授業前は、「身近」「松本(人名)」「松本(地名)」「社会」など、地域に着目した語の出現が多く見られた。しかし、授業後は、「根気強い」「決める」「心」「信念」など、「自分からこのように動こう」というように、主体的、具体的な語の出現が多く見られるようになった。

また、授業前と授業後での語の出現回数の上位10語をまとめると、以下のようになった。(表6)

順位の1位になった語は、授業前では、「松本」「人」が、出現回数15回であった。これは、児童が地域に対して、「松本」「人」というように地域に着目した考えを抱く傾向が見られるものと推察された。

しかし、「授業後」では、「自分」が、18回出現していた。2位の「強い(根気強い)」17回出現していた。このことから、「授業前」には、地域に着目する考えを抱く傾向が見られたが、小松一三夢の生き方を踏まえて、根気強く、地域のために貢献するために、「自分はどうか」を考えるようになったものと推察された。

## VI. 結論

本研究の目的は、地域に根差した自作の郷土資料を、小学校道徳科授業で活用し、児童の受け止め方を探り、効果的な活用の在り方を検証することである。

検証授業では、「なぜ先人は、そのような生き方をしたのだと思いますか?」「先人の生き方から、どんなことが役に立つと思いますか?」などの発問を行った。その結果、児童は、先人の生き方を、自分に引き寄せ、自分なりにどうするかを考えられるようになったものと推察された。

このことから、自作の郷土資料を道徳科授業で活用する際は、「先人に関連する多様な内容項目を意識させ、児童が多面的・多角的に先人の生き方を捉えられるような発問を行うことが効果的である。」ことが示唆された。



今後の課題としては、児童の受け止めについて、本実践のように授業後のみの実態を調べるだけでなく、数週間後あるいは数ヶ月後の実態を調べること、他の地域、中学校においても、同じような研究成果が得られるかを明らかにすることなどが必要であると考えます。

表6 授業前と授業後での語の出現回数の上位10語

授業前			授業後		
順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	松本	15	1	自分	18
1	人	15	2	強い	17
3	自分	9	3	思う	16
4	思う	8	4	人	14
5	歴史	6	5	根気	11
6	活動	5	6	大切	6
7	将来	4	7	決める	5
7	知る	4	8	花	4
9	助ける	3	8	実行	4
9	役に立つ	3	8	心	4

#### 引用・参考文献

- 1) 文部科学省, 『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』廣済堂あかつき, p.107(2018).
- 2) 藤原友和・駒井康弘, 「はじめに」『オリジナル地域教材でつくる「本気!」の道徳科授業』小学館, p.8(2022).
- 3) 小林浩之, 日本道徳教育学会神奈川支部紀要, 『先人を題材とした教材を活用し、児童が「よりよく生きる喜び」について考えを深め、道徳的な実践意欲と態度を育てる指導のあり方』p.30(2021).
- 4) 地域総合研究センター, 「先人の生き方を考える道徳科授業の自作の郷土資料の開発」『地域総合研究第24号』p.107-112(2023).
- 5) 松本市文書館, 「小松一三夢」『松本の歴史を学ぶ—文書館子ども講座—』精美堂印刷株式会社, pp.92-93(2020).
- 6) 原卓也, 「松本城天守の保存」『こころの松本』郷土出版社, p.34(2014).
- 7) 中川治雄, 「市川量造、天守保存に尽力」『天守で博覧会』『図説 国宝松本城』大日本法令印刷株式会社, pp.184-187(2005).
- 8) 松本市文書館, 「小松一三夢」『松本の歴史を学ぶ—文書館子ども講座—』精美堂印刷株式会社, pp.92-93(2020).
- 9) 高橋将人, 「心に花をいっぱい咲かせて」『信州 まつもとの戦後50年』郷土出版社, p.112(1995).
- 10) 青木隆幸, 「松本市で『第一回花いっぱい世界大会』開催される」『松本・塩尻の昭和史』郷土出版社, p.127(1999).
- 11) 西順一, 「資料の条件」『中学校道徳資料と授業』明治図書, p.20(1968).
- 12) 井上次郎, 「資料とは何か」『道徳科授業入門』明治図書, p.41(1975).
- 13) 荒木寿友, 「偉人の教材研究例」『いちばんわかりやすい道徳の授業づくり』明治図書, p.59(2021).
- 14) 押谷慶昭「評定尺度法」『道徳の授業理論』教育開発研究所, p.192(1989).
- 15) 富岡栄, 「道徳ノート、ワークシートによる方法」明治図書, p.87(2018).
- 16) 樋口耕一, 『動かして学ぶ! はじめてのテキストマイニング』ナカニシヤ出版(2020).

巻末資料1

授業前

アンケート

小学校

質問1 あなたは、これまで松本市のために活動してきた人を知っていますか？  
自分の思う番号に○をつけてください。  
1 とても知っている 2 少し知っている  
3 あまり知らない 4 まったく知らない  
→質問1で、「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんな人ですか？  
名前をおぼえていないが、松本城を買い取られないようにしてくれた人。  
→質問1で、「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問2 あなたは、これまで松本市のために活動してきた人について興味がありますか？  
自分の思う番号に○をつけてください。  
① とても興味がある 2 少し興味がある  
3 あまり興味がない 4 まったく興味がない  
→質問2で、「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんな人ですか？  
→質問2で、「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問3 これまで松本市のために活動してきたことを学ぶことができたなら、どんなことが役に立つと思いますか？  
松本市の歴史や文化などを守りたいという心につながると思う。

授業後

ワークシート

小学校

質問1 今日の市川量造の話は、印象に残りましたか？ 番号に1つ○をつけてください。  
① とても印象に残った 2 少し印象に残った  
3 あまり印象に残らなかった 4 まったく印象に残らなかった  
→「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんなことですか？  
松本城を守ろうという心が印象に残りました。  
→「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問2 これまで松本市のために活動してきた人について、興味をもちましたか？  
番号に1つ○をつけてください。  
① とても興味をもちた 2 少し興味をもちた  
3 あまり興味をもちなかつた 4 まったく興味をもちなかつた  
→「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんなことですか？  
地域、地域の人々を守るということに興味をもちました。  
→「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問3 市川量造の生き方から、どんなことが役に立つと思いますか？  
行動力のある諦めない人になるために役に立つと思いました。

巻末資料2

授業前

アンケート

小学校

質問1 あなたは、これまで松本市のために活動してきた人を知っていますか？  
自分の思う番号に○をつけてください。  
1 とても知っている ② 少し知っている  
3 あまり知らない 4 まったく知らない  
→質問1で、「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんな人ですか？  
ボランティアの人達  
→質問1で、「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問2 あなたは、これまで松本市のために活動してきた人について興味がありますか？  
自分の思う番号に○をつけてください。  
1 とても興味がある ② 少し興味がある  
3 あまり興味がない 4 まったく興味がない  
→質問2で、「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんな人ですか？  
ボランティアの人達  
→質問2で、「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問3 これまで松本市のために活動してきたことを学ぶことができたなら、どんなことが役に立つと思いますか？  
人を助ける事につながって、そういう事に役立つと思います。

授業後

ワークシート

小学校

質問1 今日の小松一三夢の話は、印象に残りましたか？ 番号に1つ○をつけてください。  
① とても印象に残った 2 少し印象に残った  
3 あまり印象に残らなかった 4 まったく印象に残らなかった  
→「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんなことですか？  
自分が決めた事をあきらめないうちがすごいなと思いました。  
→「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問2 これまで松本市のために活動してきた人について、興味をもちましたか？  
番号に1つ○をつけてください。  
① とても興味をもちた 2 少し興味をもちた  
3 あまり興味をもちなかつた 4 まったく興味をもちなかつた  
→「1または2」に○をつけた人に聞きます。それは、どんなことですか？  
みんなのために活動する事がすごいなと思いました。  
→「3または4」に○をつけた人に聞きます。それは、なぜですか？

質問3 小松一三夢の生き方から、どんなことが役に立つと思いますか？  
人のために活動して助けた事だと思いました。  
自分の決めた事を最後までやりとげ事に役立つと思いました。  
実行力に役立つと思いました。